

## 平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ  
 コード番号 9439 URL <http://mhgroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 文彦  
 (氏名) 小林 繁之

TEL 03-5411-7222

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	1,434	5.2	63	86.1	54	35.1	29	△5.7
23年6月期第3四半期	1,363	1.7	34	△8.8	40	23.7	31	△66.3

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 27百万円 (△12.9%) 23年6月期第3四半期 31百万円 (△71.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	266.87	—
23年6月期第3四半期	283.56	283.55

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	1,299	594	45.7	5,330.56
23年6月期	1,322	583	44.1	5,234.60

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 594百万円 23年6月期 583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	150.00	150.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	200.00	200.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	7.1	100	26.7	80	7.9	70	15.9	628.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) (株)ワーク・ワークス、(株)クローバー  
(注)詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	113,321 株	23年6月期	113,321 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	1,861 株	23年6月期	1,861 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	111,460 株	23年6月期3Q	111,211 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による一時的な落ち込みはあったものの、急速なサプライチェーンの復旧などにより徐々に回復しつつあります。その一方で欧州の財政危機や堅調に推移していた中国をはじめとする新興国の成長鈍化などにより世界経済は不安定さを増し、歴史的な円高もあいまって先行きの不透明感は一層強まっております。

当社グループが属する美容業界も、他のサービス業と比較して景気の影響を受けにくい業種ではあるものの客単価の低下や来店周期の長期化、更には若年層人口の減少などにより厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度からの直営店の新規出店やB Sサロン（フランチャイズサロン）の直営化などにより収益力の維持・強化が図られた結果、直営サロン数が増加し直営サロン運営事業を中心に売上高が増加いたしました。また、一方では、震災による「モッズ・ヘアコレクション」の開催自粛や株主優待制度の見直しなどにより販売管理費が大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,434,621千円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益63,616千円（前年同四半期比86.1%増）、経常利益54,362千円（前年同四半期比35.1%増）となりました。

特別損益につきましては、モッズ・ヘアプランタン銀座店は、商業施設プランタン銀座7階に入居しておりますが、同施設の6・7階の営業から株式会社プランタン銀座が撤退することとなり、モッズ・ヘアプランタン銀座店も平成24年5月31日をもって一時的な移転を余儀なくされたため、これに係わる減損損失などの特別損失が8,134千円発生いたしました。一方で、モッズ・ヘアプランタン銀座店の原状回復義務の免除による資産除去債務戻入益や平成23年11月のモッズ・ヘアパーティ閉店に伴う事業譲渡益などの特別利益4,027千円の計上がありました。また、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しにより、法人税等調整額が21,221千円増加したことなどから、四半期純利益は、29,745千円（前年同四半期比5.7%減）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

#### （直営サロン運営事業）

日本全国に展開するB Sサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン20店舗、準直営サロン（業務委託サロン）3店舗の計23店舗を展開しております。

直営サロン運営事業におきましては、平成24年2月にモッズ・ヘア名古屋栄店を直営化し、同年3月に宮城県仙台市において仙台パルコ店をオープンいたしました。これにより前年に比べ直営サロン数が1店舗増加したため、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,024,670千円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益は、11,040千円（前年同四半期は、セグメント損失12,162千円）となりました。なおモッズ・ヘアパーティは、平成23年11月をもって閉店しております。

#### （B Sサロン運営事業）

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、B Sサロンと呼んでおります。B Sサロンは、前年に比べ韓国で2店舗、台湾で1店舗増加したもののB Sサロンの直営店化などにより国内では4店舗減少し、当第3四半期連結会計期間末日現在、国内70店舗、韓国20店舗、台湾3店舗の計93店舗となっております。

B Sサロン運営事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、362,726千円（前年同四半期比7.7%減）となりましたが、東日本大震災の影響による「モッズ・ヘアコレクション」の開催自粛などにより販売管理費が大幅に減少した結果、セグメント利益は、200,183千円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

## (ヘアメイク事業)

当社は「モッズ・ヘア」の原点ともなるフランス・パリのスタジオワーク専門ヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」をはじめ世界4大コレクション及び「東京コレクション」への参加や、CMをはじめファッション雑誌を年間3,000ページ以上手掛けるなど、国内外で高い評価を得ております。また、当社のヘアメイクチームの作品は「モッズ・ヘア」をブランディングするうえでクリエイションの柱であり、サロンスタイルなどでのアイデアソースとしても重要な役目を担っております。

当第3四半期連結累計期間は、東日本大震災により手控えられていた広告宣伝活動が回復してきたことや若手ヘアメイクアーティストを中心に受注数が伸びたことなどが寄与し、売上高は、109,727千円（前年同四半期比32.8%増）、セグメント利益は、11,128千円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

## (その他)

当社グループでは、国内90店舗以上を擁する「モッズ・ヘア」サロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化し、100%子会社である(株)ライトスタッフを通じて、一般のサロンに提供するサービスとして、クレジット手数料軽減サービスなどの美容室支援事業を行っております。

クレジット手数料軽減サービスの契約件数は順調に伸びており、その他の当第3四半期連結累計期間の売上高は、35,038千円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益は、14,248千円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 財政状態の分析

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ23,509千円減少し、1,299,025千円となりました。主な要因としましては、借入金の返済等による現金及び預金の減少22,098千円、主にPB商品仕入の増加による棚卸資産の増加18,901千円、クレジット代行事業に係わるクレジット未収入金の増加による未収入金の増加29,327千円、投資事業組合出資金の一部返還などによる投資有価証券の減少34,727千円、税制改正による繰延税金資産の減少13,892千円などによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ34,032千円減少し、704,881千円となりました。主な要因としましては、借入金の返済による1年内返済予定の長期借入金の減少120,006千円、クレジット代行事業に係わるクレジット未払金及び直営店出店の際の内装設備費に係わる未払金の増加99,023千円などによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10,523千円増加し、594,143千円となりました。主な要因としましては、四半期純利益29,745千円、配当金の支払16,719千円などによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年8月16日付「決算短信」において公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であった(株)ワーク・ワークス及び(株)クローバーは平成24年1月1日付で当社の100%子会社である(株)アトリエ・エム・エイチに吸収合併されたため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(合弁会社の設立)

当社は、平成24年2月25日に台湾の概亞形象整合有限公司との間で合弁会社設立契約を締結しました。その概要は次のとおりであります。

#### 1. 目的

当社グループは、海外、特に東アジアにおける事業展開を重要な成長戦略の一つとして位置づけております。台湾においては現在3店舗をフランチャイズ展開し、長年にわたりユニリーバ台湾とも業務提携を行っているため、当社グループが運営する「モッズ・ヘア」ブランドの認知度は高く、一定の評価を得ているものと認識しております。そこで、今後も継続的に高い成長が期待できる地域において、積極的に多店舗展開を図っていくため合弁会社を設立することといたしました。

#### 2. 設立する会社の概要

- (1) 名称：台湾摩法法人股份有限公司
- (2) 事業内容：美容業（モッズ・ヘアサロンの経営）
- (3) 設立年月日：平成24年5月（予定）
- (4) 本店所在地：中華民国（台湾）台北市大安区
- (5) 代表者の役職・氏名：董事長 小崎 和世
- (6) 資本金の額：500万新台湾ドル（約13百万円 ※1新台湾ドル=2.7円で換算）
- (7) 出資比率：当社 50.0%、概亞形象整合有限公司 50.0%
- (8) 事業年度の末日：6月30日（予定）

### 3. 合弁相手先の概要

- (1) 名称：概亞形象整合有限公司
- (2) 事業内容：美容業
- (3) 設立年月日：平成13年5月
- (4) 本店所在地：中華民国（台湾）台北市大安区
- (5) 代表者の役職・氏名：董事長 房 安邦
- (6) 資本金の額：500万新台幣ドル（約13百万円 ※1 新台幣ドル=2.7円で換算）

### 4. 今後の見通し

合弁会社設立後、早期に台湾における直営第1号店を出店し、その後も出店を継続する予定です。現段階におきましては、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。中長期的には業績拡大が期待できると考えております。

#### （法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.69%から、平成24年7月1日に開始する連結会計年度から平成26年7月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については38.01%に、平成27年7月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.64%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は4,160千円減少し、法人税等調整額は4,160千円増加しております。

また、欠損金の繰越控除制度が平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から繰越控除前の所得の金額の100分の80相当額が控除限度額とされることに伴い、繰延税金資産の金額は8,998千円減少し、法人税等調整額は8,998千円増加しております。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	255,347	233,248
売掛金	103,509	101,098
商品	75,646	94,547
未収入金	193,275	222,603
繰延税金資産	53,606	41,458
その他	35,806	33,201
貸倒引当金	△12,114	△6,414
流動資産合計	705,078	719,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	445,281	469,776
減価償却累計額	△220,772	△244,695
建物及び構築物(純額)	224,508	225,081
工具、器具及び備品	96,660	101,077
減価償却累計額	△68,280	△74,490
工具、器具及び備品(純額)	28,379	26,586
その他	5,398	5,398
減価償却累計額	△1,689	△2,332
その他(純額)	3,708	3,065
有形固定資産合計	256,597	254,733
無形固定資産		
のれん	3,900	3,169
その他	107	56
無形固定資産合計	4,008	3,225
投資その他の資産		
投資有価証券	96,822	62,095
長期貸付金	56,511	64,033
差入保証金	246,989	245,489
繰延税金資産	12,459	10,715
破産更生債権等	50,407	50,407
その他	1,991	4,433
貸倒引当金	△108,331	△115,853
投資その他の資産合計	356,850	321,321
固定資産合計	617,456	579,280
資産合計	1,322,534	1,299,025



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,226	40,613
1年内返済予定の長期借入金	160,000	39,994
未払金	235,199	334,223
未払費用	39,819	43,610
未払法人税等	6,287	5,050
未払消費税等	13,094	9,707
ポイント引当金	2,346	512
その他	30,290	23,033
流動負債合計	510,264	496,745
固定負債		
長期未払金	57,572	49,307
受入保証金	165,899	157,540
資産除去債務	3,214	—
その他	1,963	1,289
固定負債合計	228,649	208,136
負債合計	738,914	704,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	104,614	104,614
利益剰余金	13,004	26,031
自己株式	△25,737	△25,737
株主資本合計	591,881	604,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,433	△10,764
その他の包括利益累計額合計	△8,433	△10,764
新株予約権	171	—
純資産合計	583,620	594,143
負債純資産合計	1,322,534	1,299,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	1,363,927	1,434,621
売上原価	1,010,192	1,085,982
売上総利益	353,735	348,639
販売費及び一般管理費	319,548	285,022
営業利益	34,186	63,616
営業外収益		
受取利息	65	154
投資事業組合運用益	5,527	—
還付加算金	—	367
受取遅延損害金	—	406
その他	3,146	268
営業外収益合計	8,738	1,197
営業外費用		
支払利息	2,221	769
投資事業組合運用損	—	8,906
その他	457	775
営業外費用合計	2,678	10,451
経常利益	40,246	54,362
特別利益		
固定資産売却益	1,067	—
事業譲渡益	—	2,214
資産除去債務戻入益	—	1,641
工事負担金収入	15,000	—
店舗閉鎖損失戻入額	2,000	—
その他	465	171
特別利益合計	18,532	4,027
特別損失		
投資有価証券評価損	12,184	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16,757	—
減損損失	—	7,134
その他	—	1,000
特別損失合計	28,942	8,134
税金等調整前四半期純利益	29,836	50,256
法人税、住民税及び事業税	5,630	6,618
法人税等調整額	△7,329	13,892
法人税等合計	△1,698	20,510
少数株主損益調整前四半期純利益	31,535	29,745
四半期純利益	31,535	29,745

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,535	29,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	△2,331
その他の包括利益合計	△71	△2,331
四半期包括利益	31,464	27,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,464	27,414
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	950,457	393,131	82,652	1,426,241	29,985	1,456,227	△92,299	1,363,927
セグメント利益	△12,162	204,983	9,840	202,661	13,759	216,421	△182,235	34,186

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△182,235千円には、棚卸資産の調整額△4,737千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,497千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	計				
売上高	1,024,670	362,726	109,727	1,497,124	35,038	1,532,162	△97,540	1,434,621
セグメント利益	11,040	200,183	11,128	222,352	14,248	236,601	△172,984	63,616

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、美容室支援事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△172,984千円には、棚卸資産の調整額△850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,134千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営サロン運営事業」セグメントにおいて、移転により将来キャッシュ・フローが減少する見込みの店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能額まで減額して、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において7,134千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。